

周辺部材 ※下記の周辺部材は単体購入可能です。

■ 給水用ボールバルブ

接続ねじ：Rc3/4×G1
減圧弁との接続には、給水用減圧弁に付属のパッキンを使用してください。



20 BCV5-GVF-C

■ 給湯用ボールバルブ

接続ねじ：Rc3/4×G1
減圧弁との接続には、給湯用減圧弁に付属のパッキンを使用してください。



20 HBCV5-GVF-C

■ 減圧弁用保温材

減圧弁用の保温材です。給湯用減圧弁を使用する際は、必ず給湯用保温材を使用してください。



20 RDN-W (給水用)
20 RDNF-W (給湯用)

給水用 給湯用

給水用 給湯用

※給湯用は保温材側面に「FQ」の表示あり。

■ 水圧テスト用ニップル

減圧弁のストレーナーキャップを本ニップルに付け替え、ニップルを介して水圧テスト用ポンプ等を接続することで、減圧弁を配管に取り付けたまま水圧テストを行うことができます。詳細はニップルに付属の取扱説明書をご確認ください。



RDN-TN

オリング ニップル
接続ねじ：PJ3/4 ストレーナー付パッキン

■ 圧力計ホースセット

本ホースセットを減圧弁の圧力計継手に接続することで、付属のコックから減圧弁二次側の圧力を逃しながら、減圧弁二次側の圧力を測定することができます。詳細はホースセットに付属の取扱説明書をご確認ください。圧力計接続ねじ：Rc3/8 ※圧力計は付属していません。



MUK-GHS

■ 圧力調整ハンドル

減圧弁の設定圧力調整に使用するハンドルです。



MUK-GCH

施工上の注意

必ず取扱説明書を良くお読みの上、仕様条件に沿って施工してください。また、仕様は予告なく変更する場合があります。必ず右記QRコードより、最新版の取扱説明書をダウンロードしてください。最新版の取扱説明書をQRコードから確認できない、または確認できない環境の場合は、最寄りの弊社支店・営業所までお問い合わせください。

▼ 取扱説明書はこちら



▲ RDNA (給水用)



▲ RDNH (給水用一次側高圧対応型)



▲ RDNF (給湯用)

株式会社タブチ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番 (本社・工場)
TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210

ホームページ <https://www.tabuchi.co.jp/> ホームページはこちら▶



商品の問合せは **0120-481-130**

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

札幌支店	011-814-8111代	東京支社	03-6899-2620代
仙台支店	019-656-5011代	東京北支店	03-6231-3510代
高崎支店	027-323-1124代	横浜支店	045-261-0800代
新潟営業所	025-240-9280代	静岡支店	054-653-5530代
土浦支店	029-835-3520代	金沢支店	076-221-0640代
千葉支店	043-275-8588代	名古屋支店	052-855-2185代
さいたま支店	048-872-2203代	名古屋北支店	0586-80-5015代
さいたま北営業所	049-211-0023代	一宮	0586-80-5015代
多摩支店	042-580-1850代	京都支店	075-605-7380代
		大阪第1支店	06-6708-0152代
		大阪第2支店	06-6708-0152代

検索機能充実の

WEBカタログはホームページから！



● 設定条件、使用条件をご確認の上、器具を選定ください。
● ご使用前に「取扱説明書」をよく読んで正しくお使いください。
● 取扱いを誤りますと、故障や事故及び、財産損害発生恐れがあります。
● 設置工事をされる場合は、「施工説明書」をよく読んで施工してください。

大阪北営業所	072-638-2530代	沖縄支店	098-867-9121代
神戸支店	078-441-7733代	大阪住設事業課	06-4704-6601代
岡山支店	086-222-5301代	東京住設事業課	03-6899-2630代
広島支店	082-832-4355代	大阪特販	06-4704-6602代
松山支店	089-971-5600代	名古屋特販	052-855-2185代
福岡支店	092-441-8421代	東京特販	03-6899-2630代
鹿児島営業所	099-250-1090代	リテール課	03-6899-2630代

● このカタログは2025年6月現在のものです。
● 印刷インキの性質上、現物と多少の差があります。
● 価格はすべて消費税抜です。
● 本誌に掲載されている品名・仕様等は、予告なく変更、あるいは製造を中止する場合があります。
● ご使用の際は必ず内容をご確認ください。

PRINTED 2025.6 K0098 (G)SK



集合住宅、ホテル等に最適

戸別給水・給湯用減圧弁

建物の各階層間に生じる給水・給湯圧力の差を軽減



RDNA 戸別給水用減圧弁

RDNF 戸別給湯用減圧弁

01 減圧機能「ON・OFF」の切り替えが可能！



02 減圧弁を取り外さずに水圧テストが可能！

03 一次側高圧対応型もラインアップ！（給水用のみ）
高層マンションにも対応可能



給水・給湯用バルブ（別売）もラインアップ！

株式会社タブチ

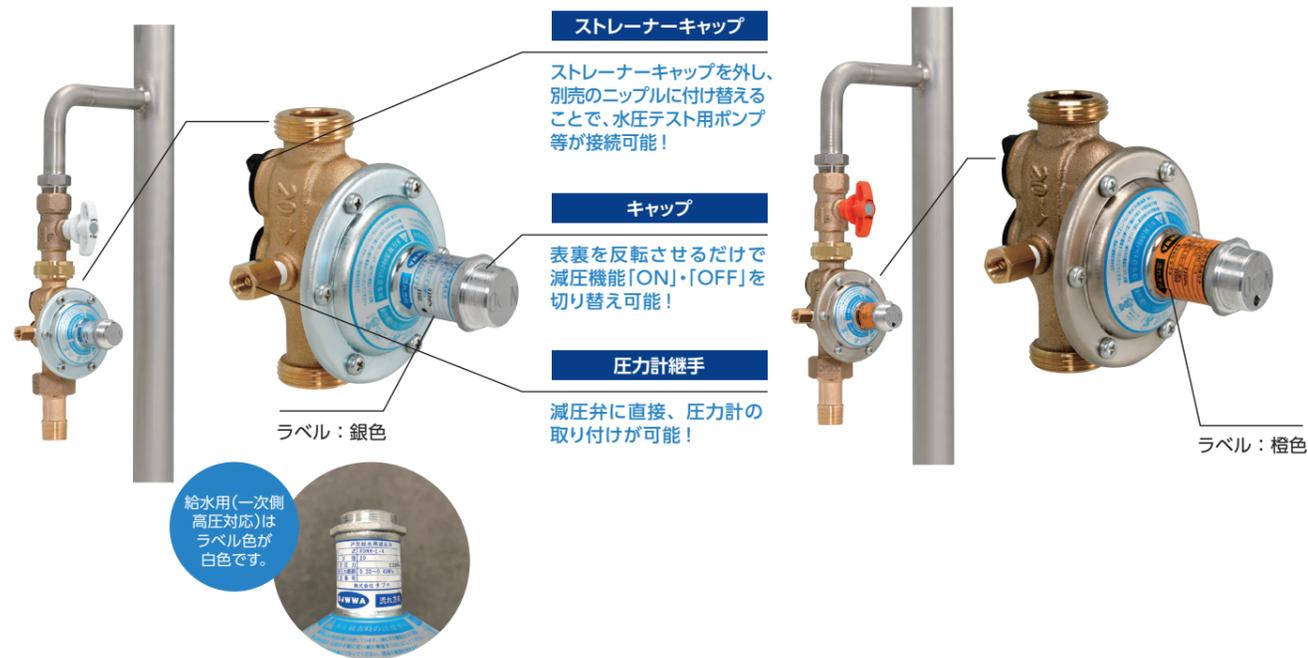
仕様

用途	給水用	給水用 (一次側高圧対応)	給湯用
品番	RDNA	RDNH	RDNF
呼び径	20		
適用流体	水道水		
使用温度	5 ~ 35℃以下 (凍結不可)		5 ~ 90℃以下 (凍結不可)
一次側使用圧力	1.0MPa 以下	1.6MPa 以下	1.0MPa 以下
調整圧力範囲	0.15 ~ 0.20MPa 0.20 ~ 0.30MPa 0.30 ~ 0.40MPa	0.20 ~ 0.30MPa 0.30 ~ 0.40MPa	0.20 ~ 0.30MPa

ラインアップと機能

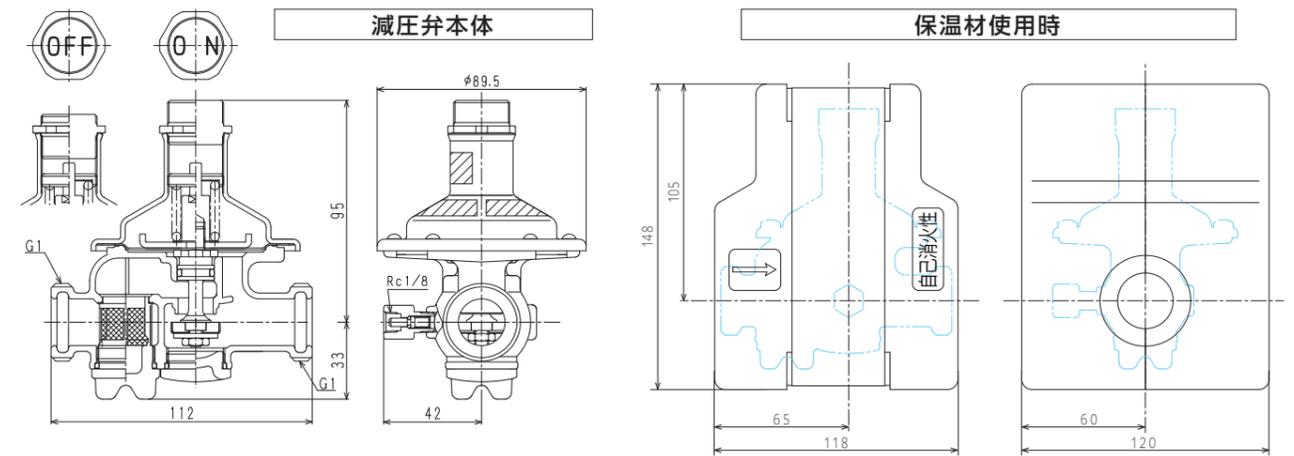
給水用

給湯用



用途	給水用	給水用 (一次側高圧対応)	給湯用
減圧弁のラベル色	銀色	白色	橙色
ラベルのイメージ			

構造 ※給水・給湯用



減圧弁取扱い方法

check 減圧弁の機能を「ON」・「OFF」にする方法

ON : 減圧弁の二次側圧力を減圧する状態
OFF : 減圧弁の一次側圧力と二次側圧力が同圧の状態

- 本製品出荷時は減圧弁の機能が作動しない状態 (水圧検査が可能な状態) となっています。(上記の「OFF」の状態)
 ※水圧検査の際は、キャップの表示「OFF」が見える状態で、キャップが端面まで締付けられていることを確認してください。
 ※「ON」の状態での水圧検査は行わないでください。故障の原因となります。
- 減圧機能を「ON」にする場合は、配管内部の圧力を完全に抜いてから、キャップを取外し、キャップの「ON」が見える状態で、キャップを端面まで締付けてください。
 ※減圧機能を「OFF」にする場合も、「ON」にする場合と同様の手順で実施してください。



check 圧力調整方法

- 圧力計 (R1/8) を本体側面の圧力計継手に取付けてください。
 注1. 圧力計継手は圧力計の接続以外に使用しないでください。
 注2. 圧力計継手内部にある主軸を押し回したり回転させないでください。水漏れの原因となります。
- キャップを取外し、圧力計を見ながら調整ねじを回転させ、調整してください。

減圧弁の二次側圧力を上げる場合: 右回転 (時計回り) へ回す。
 減圧弁の二次側圧力を下げる場合: 左回転 (反時計回り) へ回す。

- 調整後はキャップを取付けてください。この時、必要以上の力で締めすぎると部品が破損しますので注意してください。

